【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成20年12月11日(2008.12.11)

【公開番号】特開2007-95067(P2007-95067A)
【公開日】平成19年4月12日(2007.4.12)
【年通号数】公開・登録公報2007-014
【出願番号】特願2006-262027(P2006-262027)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　1/26　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　12/00　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　13/16　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　1/20　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　1/00　３３１Ｅ
Ｇ０６Ｆ　12/00　５５０Ｅ
Ｇ０６Ｆ　13/16　５１０Ａ
Ｇ０６Ｆ　1/00　３６０Ｄ
Ｇ０６Ｆ　3/00　Ｒ

【手続補正書】
【提出日】平成20年10月24日(2008.10.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
それぞれが信号終端コンポーネントを含む複数の相互接続されたデバイスの間での配電を管理する方法であって、　前記デバイスのうちの１つまたは複数の熱徴候データを受け取るステップと、　前記受け取られた熱徴候データに従って、前記デバイスのうちの１つまたは複数の前記信号終端コンポーネントを使用可能にセットするステップと　前記デバイスの相対電力消費を判定するために前記受け取られた熱徴候データを比較するステップと、を含み、前記使用可能にセットするステップが、前記デバイスの前記判定された相対電力消費に従って共用バス・システム内の前記デバイスのうちの１つまたは複数の前記信号終端コンポーネントを使用可能にセットするステップを含む方法。
【請求項２】
前記信号終端コンポーネントが、１つまたは複数の終端制御信号を受け取り、前記デバイスのうちの１つまたは複数の前記信号終端コンポーネントを使用可能にセットする前記ステップが、個別にまたは組み合わせて前記終端制御信号をエンコードするステップをさらに含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記信号終端コンポーネントが、プルダウン・ネットに直列結合されたプルアップ・ネットを含み、前記プルアップ・ネットおよびプルダウン・ネットが、相補的なプルアップ・コンポーネント／プルダウン・コンポーネント対を含み、前記エンコードするステップおよびデコードするステップが、さらに、前記相補的なプルアップ・コンポーネント／プルダウン・コンポーネント対を選択的に使用可能にするために前記終端制御信号をエンコードし、デコードするステップをさらに含む、請求項２に記載の方法。

【請求項４】
前記使用可能にセットするステップが、前記デバイスのうちの１つまたは複数の第１グループとは別々に相互接続された１つまたは複数のデバイスの第２グループの前記信号終端のセットに従って前記第１グループの前記信号終端コンポーネントを使用可能にセットするステップを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項５】
前記熱徴候データが、　デバイス温度と、　デバイス・アクティビティ・レベルと、　計算されたデバイス電力消費と　を含む群の中に含まれる、請求項１に記載の方法。
【請求項６】
前記デバイスのそれぞれの前記信号終端コンポーネントが、オンダイ終端コンポーネントであり、前記使用可能にセットするステップが、前記複数のデバイスのうちの１つまたは複数のオンダイ終端コンポーネント・イネーブル入力でイネーブル信号をセットするステップを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項７】
それぞれが信号終端コンポーネントを含む複数の相互接続されたデバイスの間での配電を管理する方法であって、　前記デバイスのうちの１つまたは複数の熱徴候データを受け取るステップと、　前記受け取られた熱徴候データに従って、前記デバイスのうちの１つまたは複数の前記信号終端コンポーネントを使用可能にセットするステップと前記デバイスのうちの前記１つまたは複数の熱徴候データを判定するステップと、を含み、熱徴候データの前記判定が、より高い熱アクティビティの徴候を有する第１デバイスおよびより低い熱アクティビティの徴候を有する第２デバイスを識別するステップを含み、前記デバイスのうちの１つまたは複数の前記信号終端コンポーネントを使用可能にセットする前記ステップが、前記第１デバイスの前記信号終端コンポーネントを使用不可にするステップと、前記第２デバイスの前記信号終端コンポーネントを使用可能にするステップとを含む、方法。
【請求項８】
前記デバイスが、共用バスまたはポイントツーポイント・チャネル接続で相互接続され、前記熱徴候データを判定するステップが、前記デバイスのうちの１つまたは複数のバス・トランザクション・アクティビティまたはチャネル・トランザクション・アクティビティのレベルを判定するステップを含む、請求項７に記載の方法。
【請求項９】
前記熱徴候データを判定するステップが、前記デバイスのうちの１つまたは複数に送られる電力負荷を計算するステップを含む、請求項７に記載の方法。
【請求項１０】
それぞれが信号終端コンポーネントを含む複数のデバイスを相互接続する共用バス・システムで配電を管理するシステムであって、前記システムが、　前記デバイスのうちの１つまたは複数の熱徴候データを受け取り、　前記受け取られた熱徴候データに従って、前記デバイスのうちの１つまたは複数の前記信号終端コンポーネントを使用可能にセットするための信号終端制御回路を含み、前記信号終端制御回路が、前記デバイスの相対電力消費を判定するために前記受け取られた熱徴候データを比較し、前記デバイスの前記判定された相対電力消費に従って、前記デバイスのうちの１つまたは複数の前記信号終端コンポーネントを使用可能にセットするシステム。
【請求項１１】
前記信号終端コンポーネントが、前記信号終端制御回路から１つまたは複数の終端制御信号を受け取り、前記信号終端制御回路が、個別にまたは組み合わせて前記終端制御信号をエンコードする、請求項１０に記載のシステム。
【請求項１２】
前記信号終端コンポーネントが、プルダウン・ネットに直列結合されたプルアップ・ネットを含み、前記プルアップ・ネットおよびプルダウン・ネットが、相補的なプルアップ・コンポーネント／プルダウン・コンポーネント対を含み、前記信号終端コンポーネントが

、さらに、前記相補的なプルアップ・コンポーネント／プルダウン・コンポーネント対を選択的に使用可能にするために前記終端制御信号をエンコードする、請求項１１に記載の方法。
【請求項１３】
前記信号終端制御回路が、前記受け取られた熱徴候データに従って前記デバイスのうちの１つまたは複数の前記信号終端コンポーネントを使用可能または使用不可にする、請求項１０に記載のシステム。
【請求項１４】
前記デバイスのうちの前記１つまたは複数の熱徴候データを判定するために熱検出デバイスをさらに含み、熱徴候データの前記判定が、より高い熱アクティビティの徴候を有する第１デバイスおよびより低い熱アクティビティの徴候を有する第２デバイスを識別することを含み、前記デバイスのうちの１つまたは複数の前記信号終端コンポーネントの使用可能の前記セットが、前記第１デバイスの前記信号終端コンポーネントを使用不可にすることと、前記第２デバイスの前記信号終端コンポーネントを使用可能にすることとを含む、請求項１０に記載のシステム。
【請求項１５】
前記熱徴候データが、　デバイス温度と、　デバイス・アクティビティ・レベルと、　計算されたデバイス電力消費と　を含む群の中に含まれる、請求項１０に記載の方法。
【請求項１６】
前記デバイスが、共用バスまたはポイントツーポイント・チャネル接続で相互接続され、熱徴候データの前記判定が、前記デバイスのうちの１つまたは複数のバス・トランザクション・アクティビティまたはチャネル・トランザクション・アクティビティのレベルを判定することを含む、請求項１４に記載のシステム。
【請求項１７】
熱徴候データの前記判定が、前記複数のデバイスのうちの１つまたは複数に送られる電力負荷を計算することを含む、請求項１４に記載のシステム。
【請求項１８】
前記デバイスのそれぞれの前記信号終端コンポーネントが、オンダイ終端コンポーネントであり、前記デバイスのうちの１つまたは複数の前記信号終端コンポーネントの使用可能の前記セットが、前記複数のデバイスのうちの１つまたは複数のオンダイ終端コンポーネント・イネーブル入力でイネーブル信号をセットすることを含む、請求項１０に記載のシステム。